

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	荒川総合体育館ほか5施設	評価対象年度	平成 30 年度
指定管理者名	NPO法人サンスマイルあらかわ	所管課	生涯学習課
指定期間	平成29年4月1日～平成31年3月31日(3年)	評価者(課長)	板垣 敏幸

①事業実績

利用実績	別紙「平成30年度荒川地区体育施設使用実績」のとおり
サービス向上の取り組み	・意見箱の設置により、利用者の意見・利用時の現状認識に努めている。

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (28年度)	前年度 (29年度)	当該年度 (30年度)	合計	備考
収入	指定管理料	42,658	43,889	38,682	125,229	H28年度導入(3ヶ年)
	利用料金	2,287	2,405	1,993	6,685	協定額:125,229,121円
	自主事業収入	6,875	6,940	6,030	19,845	クラブ支援補助金含む
	その他					
計		51,820	53,234	46,705	151,759	
支出	管理経費	44,211	45,611	41,143	130,965	
	(うち人件費)	12,808	13,423	13,598	39,829	
	(うち光熱水費)	5,965	7,422	6,603	19,990	
	(うち修繕費)	2,106	1,637	1,925	5,668	
	(うち委託料)	17,877	17,083	16,993	51,953	
	自主事業費	6,605	6,751	5,848	19,204	クラブ支援補助金含む
計		50,816	52,362	46,991	150,169	
差引		1,004	872	▲ 286	1,590	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) ・誰もが身近にスポーツに親しむことが出来ること、利用者が安全かつ安心して利用できることを第一に考え、計画的に業務を実施した。 ・特定の団体の利用が集中しないよう、適宜、利用調整を実施し、一般開放の時間帯を確保するなど、利用の公平を図っている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由) ・アンケート回収箱の設置や窓口での意見聴取や問題把握に努め、積極的に業務に取り入れ、迅速に対応し、実施後の利用者への報告を必須とし業務を遂行している。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由) ・施設修繕について、職員が自主改修を実施するなど、修繕経費の低減を図っている。 ・修繕を依頼する場合(専門的な修繕)、必ず複数業者による入札を実施し、経費の低減を図っている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) ・担当課との連絡・連携は密に図られており、職員・代行員の不在時に施設・備品等の不具合に迅速に対応できるよう連絡体制を明確にし対応している。 ・救急、救命講習会(AEDを含む)について、全職員が有資格者であり、利用者の安全管理を徹底している。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) ・各施設については、職員による定期的な巡回による設備維持管理業務委託を行っており、施設に不備があった場合には、安全性の問題や緊急性等を考慮して速やかに対応している。 ・体育館の防犯については、業者に警備業務を委託し、職員・代行員不在時の警備を実施している。				

④総合評価

評価点合計	80.0	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

適切に業務を実施していると評価できる。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

個々の業務については、今年度に引き続いて実施していただきたい。今後も一層のサービス向上に努めていただきたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分
S 95.0以上
A 80.0以上95.0未満
B 60.0以上80.0未満
C 60.0未満